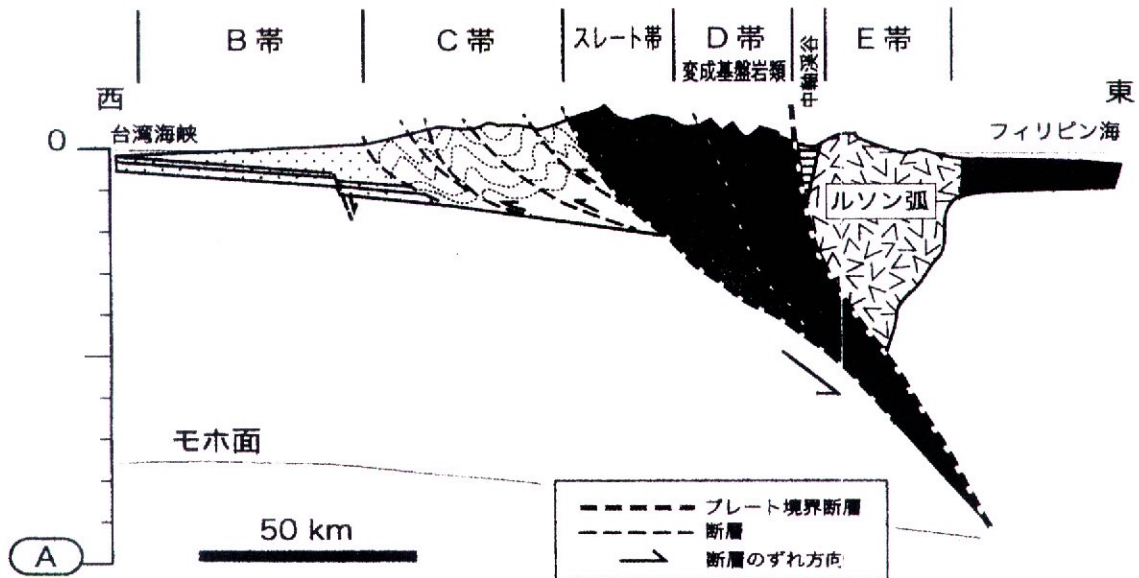


(問題2の続き)

問2 図は代表的な大陸・島弧衝突帯である台湾中部の東西断面図である。以下の問い(1)~(5)に答えよ。



- (1) 図の左のスケールは深度を表している。Aの値を以下の数値から選択せよ。ただし、断面図の縦横比は変えて表示している。
10 km, 50 km, 100 km, 150 km, 200 km, 500 km
- (2) B帯とC帯についての、地質学的な一般名称を次の中から選択せよ。
foreland basin, forearc basin, back-arc basin, pull-apart basin, horst and graben, greenstone belt, metamorphic core complex, fold and thrust belt
- (3) D帯の上昇史を解明するにはどの場所のどのようなことに注目して調査を行うとよいか。150~250字程度で答えよ。
- (4) E帯は衝突したルソン弧を示している。E帯で露出している代表的な構成岩石を以下の中から三つ選択せよ。
角閃岩、火山角礫岩、ヘンマ岩、石灰岩、石英質砂岩、枕状溶岩、シュードタキライト、結晶片岩、放散虫チャート
- (5) 以下の図は、岩石の破壊状態を包絡線(モールの破壊線)とモール円で示した図である。C帯の断層が形成された時、以下のどのモールの状態で破壊が起こったと考えられるか。①~④のうち一つを選び、簡潔に理由も述べよ。

